

●宮崎セールスに行ってきました！

9月1日(火)、2日(水)の2日間、宮崎方面の旅行会社を訪問し、佐伯市の観光素材や魅力を説明するとともに、ツアー支援金についても、その活用を促して、当市への誘客セールスを行いました。

今後も、これまで当市へのツアーを実施していただいている旅行会社、新規で可能性がある旅行会社に向けて、積極的なセールスを実施していきます。

●東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026 大分県知事を表敬訪問しました！

9月3日(木)、「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」の開催にあたり、佐伯市・延岡市それぞれの実行委員会が合同で大分県の佐藤知事を表敬訪問しました。当日は、旬を迎えた伊勢えびを知事に試食していただきながら、両地域を結ぶ「東九州伊勢えび海道」の取り組みや、豊かな海の恵みを生かした食の魅力をPRしました。当法人も事務局として、両地域の実行委員会（参加店舗28店舗）と連携し、地域の魅力発信と観光振興に取り組んでいます。



●福岡市東区のガーデンズ千早にて「サイキ ナイト」を開催しました！

8月17日(月) から開始していた福岡市東区のガーデンズ千早でのアンテナショップ「佐伯SA」の目玉企画として、9月5日(土) に「サイキ ナイト」を実施しました。

このイベントでは、旬彩一会・仁の八木さんにご協力いただき、佐伯食材を使ったディナーを提供するもので、完全予約制で行いました。アヒージョや鹿肉のロースト、ごまだしパスタ等の工夫を凝らした料理を、少し涼しくなったガーデンズ千早の開放感あるお庭で、気の合った仲間やご夫妻でゆっくりと佐伯を堪能していただき、笑顔あふれるイベントとなりました。アンテナショップは今年で3年目を迎え、リピーターの方や佐伯に行ってきたという方も増え、着実に認知度が向上しています。



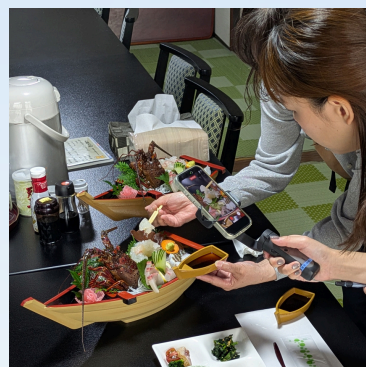
2026年
10
Vol.5

SAIKI TOURISM

観
ま
佐
N
E
W
S

● (公社) ツーリズムおおいたによる インバウンド向け広報素材撮影をアテンドしました！

9月7日(月)、(公社)ツーリズムおおいたによる撮影が佐伯市内で行われました。撮影された映像や写真は、インバウンド向けSNSや公式ホームページで活用され、佐伯市の魅力を国内外へ発信していきます。今回の撮影は、現在開催中(11月30日まで)の「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り」のPR動画であり、(公社)ツーリズムおおいた公式SNSアカウントおよび公式ホームページで公開中です。今後も情報発信を強化し、多くの皆さまに佐伯市へお越しいただけるよう取り組んでまいります。



● 佐伯市ふるさと応援大使と連携した情報発信 「東九州伊勢えび海道」の魅力を投稿しました！

現在開催中の「東九州伊勢えび海道」では、参加店舗から撮影を希望する店舗を募り、佐伯市ふるさと応援大使でもあるインフルエンサーによる情報発信を実施しています。当法人では、撮影店舗との調整や当日の撮影補助などを行い、地域の魅力がより多くの方に届くよう取り組んでいます。

これからも、地域で活躍する若手の才能や発信力と連携しながら、佐伯市の「食」や「観光」の魅力を広く発信してまいります。



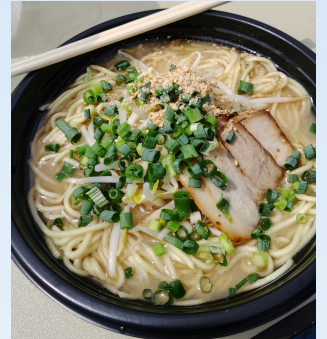
● 令和8年度 第1回観光地域づくり法人九州連携会議に出席しました！

9月8日(火)、(一社)九州観光機構主催の令和8年度第1回観光地域づくり法人九州連携会議(福岡市博多区)が開催され、当法人職員2名で出席しました。主催の(一社)九州観光機構より、観光庁の「DMO総合支援事業」(広域連携観光促進事業)を活用するために必要な九州広域連携観光戦略案(骨子)についての説明があり、九州運輸局よりDMO登録制度ガイドライン改正について、(一社)キタ・マネジメントCMO井上氏より愛媛県大洲市の取組事例の発表がありました。会議には九州各地のDMO職員が参加し、グループワークや懇親会を通じて、情報交換を行いました。このようなDMOを対象とした会議へ積極的に参加し、他DMOとの交流により、当法人のDMOとしての組織機能向上へ繋げていきます。

●「ラーメンライド」を開催しました。

9月12日(土)、ツール・ド・佐伯の約1か月前のプレイベントとして「ラーメンライド」を開催しました。ツール・ド・佐伯のコースの一部を走り、空の公園でラーメンを味わうほか、つるみテラスではスイーツエイド、ゴールの佐伯駅でもスイーツを楽しみました。大分駅からサイクルトレインを利用して参加される方もあり、市外からの参加者も多く見られました。

当法人では、自転車を通じて佐伯の景観や食を楽しんでもらうことも、地域を訪れるきっかけの一つと考えています。こうしたイベントを通じて、佐伯ならではの楽しみ方を知っていただき、観光や交流に繋げていきます。



●東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026 伊勢えび会食会 & ご長寿お祝いイベント抽選会

9月16日(水)、宮崎県延岡市にて「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026」の関連事業として、伊勢えび会食会と「ご長寿お祝いプレゼント」抽選会が開催されました。抽選会では、おじいちゃん・おばあちゃんへ寄せられた温かいメッセージが読み上げられ、会場から笑いが起こる場面も。会食会では関係者が旬の伊勢えびを囲み、交流を深めました。当法人では、伊勢えびをはじめとした地域資源の魅力発信と、地域間交流を通じた観光振興に取り組んでいます。



● さいき火まつり2026が盛大に開催されました！

昨年に引き続き、9月20日(日)に「さいき火まつり2026」が開催されました。本催しは、市内の青年団体が力を合わせ、かつて夏の風物詩として親しまれた「花火大会」を受け継ぎ、新たな佐伯の夏の恒例行事として育てていこうと取り組んでいるものです。当法人も、その熱い想いを形にするため、実行委員会の一員として企画・運営に協力しています。

当日は、さまざまな飲食店が軒を連ねたほか、ウォーターバレーやダンス、吹奏楽、太鼓など、多彩なステージパフォーマンスが繰り広げられました。さらに、SuperBoysやnobodyknows+によるライブも行われ、会場は大きな盛り上がりを見せました。そしてフィナーレには、約4,000発の花火が夜空を鮮やかに彩りました。多くの企業から協賛をいただいたほか、高校生もボランティアとして運営に参加するなど、地域のさまざまな力によって支えられた催しとなりました。これからも多くの人に親しまれ、佐伯を代表する夏のイベントとして、地域に根付いていくことを願っています。



● るるぱーくで「佐伯フェア」の出店をしました！

9月21日(月)、るるパークで開催された「コキアンヒルカーニバル」に、当法人が佐伯市の特産品を取り揃えた「佐伯フェア」を出店しました。会場では佐伯製品のPR・販売を行い、今回の目玉商品として「佐伯寿司」を30個限定で用意しましたが、販売開始から多くのお客様に関心をいただき、好評により、早い時間帯での完売となりました。今回の出店は、佐伯の食の魅力を広くPRする良い機会となりました。



● ハーモニーランド35周年イベント「県産県消マルシェ」に出店しました！

9月25日(金)から27日(日)までの3日間、ハーモニーランド35周年イベント「県産県消マルシェ」が開催され、当法人も出店し、佐伯市の特産品を販売しました。主力商品として「さいき海自カレー」を販売したほか、「フェットチーネグミ佐伯産マリンレモン味」も販売し、大変好評で、多くのお客様にお買い求めいただきました。その他にもさまざまな佐伯産品を取り揃え、佐伯市の魅力をPRしました。会場にはハーモニーランドを楽しむための衣装を身にまとったお客様も多く訪れ、3日間を通して大変賑やかで活気のあるイベントでした。



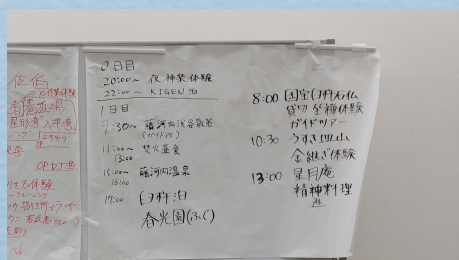
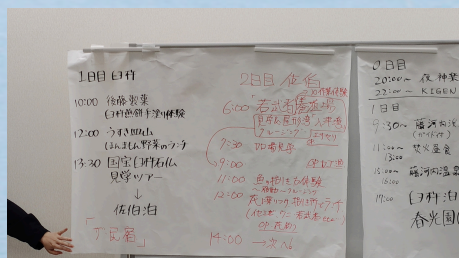
●佐伯駅発「ビール列車」満席で運行しました！

9月26日(土)、佐伯駅から重岡駅までを往復する「ビール列車」が運行され、募集定員に達する大盛況となりました。貸切の200形気動車内では、参加者がビールや軽食を楽しみながら車窓の景色を満喫しました。佐伯駅の菊池駅長が車内で挨拶し、重岡駅での折り返し後にはじゃんけん大会も行われ、車内はさらに盛り上がりを見せました。終始にぎやかな雰囲気、参加者からは「とても楽しかった」「また開催してほしい」といった声が多く寄せられ、鉄道の魅力発信につながるイベントとなりました。



●大分県インバウンド観光高付加価値促進事業 第2回ワークショップに参加しました。

9月28日(月)、「大分県インバウンド観光高付加価値促進事業 第2回ワークショップ」が開催され当法人から3名が出席しました。インバウンドの方に興味を持っていただけるような特別な体験を企画し、高付加価値なツアーを造成することを目的としています。浪井丸天水産の浪井社長にもご参加いただきましたので、若武者ハマチの養殖・加工場見学での特別な体験や、宇目での夜神楽と藤河内溪谷のトレッキングなど地域事業者と連携した体験を組み合わせる案を考えました。1日1組限定や時間外の貸切、普段は入れない場所での体験など、地域ならではの価値を高め、その収益を事業者や地域に還元していくことが、高付加価値化の重要な視点となります。各チームの発表からも多くのヒントを得ることができ、今後の佐伯市でのツアー造成につながる機会となりました。



● 9月は計3回の食育ワークショップを開催しました！

9月13日(日)、生パスタOOIWAの大岩佳史氏を講師に迎え、家庭でも作りやすい「季節の野菜を使ったラビオリのスープ仕立て」をテーマに開催しました。ラビオリの生地には餃子の皮を使い、中の具にはハンバーグのたねを使用。あらかじめ切り分けた材料を使い、グループごとに仕上げて試食しました。このほか、大岩氏によるガーリックバター作りのデモンストレーションも行われ、バゲットにつけて焼き上げた「ガーリックバタートースト」も味わいました。さらに、試食後には大岩氏特製のタルトとモンブランプリンも登場し、参加者はおなかも心も満たされ、目から鱗の情報もたくさん散りばめられたワークショップとなりました。



9月17日(木)、かみうら元気院KATARUの小川友美恵氏を講師に迎え、「手作り塩こしょうとドレッシング作り」をテーマに開催しました。参加者一人ひとりが、すり鉢にこしょうを入れ、すりこ木でお好みの粗さにすり、塩を加えてオリジナルの「MY塩こしょう」を作りました。続いて、ドレッシング作りのデモンストレーションを実施し、完成したドレッシングをみんなで味わうと、「おいしい！」という声が溢れていました。その後、各グループで作った塩こしょうを使い、チキンソテーとサラダを調理し、試食しました。塩こしょうで味付けしただけなのに香ばしくておいしいチキンソテーに参加者は感動し、手作りならではのおいしさを堪能していました。何よりも、日常で使う調味料を手軽に作ることができることに様々な気づきがあったのではないかと感じています。



9月28日(月)、初めての試みとして佐伯民際日本語学校の留学生の日本語学習と、渡町台小学校6年2組の国際交流学習、そして食育ワークショップを組み合わせた交流会が実現しました。今回は、食を通じた異文化理解を目的に、ミャンマーの伝統菓子「モロンイエボー」を作りました。もち米粉を練って形を整えた生地の中に、小さくした黒砂糖を入れこみ、沸騰した湯でゆでた後、食べる際にココナッツの粉末をつけていただくお菓子です。初めて食べるミャンマーのお菓子に「どんな味だろう」とおそろおそろ口に運ぶ子どもの姿も見られましたが、一口食べると「おいしい！おいしい！」と次々に食べ進めていました。このほかにも、甘いロイヤルミルクティーの試飲もあり、お菓子と一緒にいただきました。終了後には、双方から「一緒に作ることができて楽しかった」「もっと互いの料理を知りたい」といった嬉しい声をいただきました。今後も様々な形で食を通じた交流の機会を創出していきます。



● 今後の予定スケジュール（～11月15日まで）

●行事名：東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2026

日時：9月2日(水)～11月30日(月)

ところ：大分県佐伯市、宮崎県延岡市の食事処・宿泊施設28店舗

詳細：「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り」公式HPをご覧ください。

●行事名：Instagram×生成AI活用セミナー

日時：10月15日(木) 14:00～15:30

会場：保健福祉総合センター和楽 第1会議室

行事内容：事前申し込みをされた15事業者

●行事名：佐伯市で生み出された芸術作品の展示・販売・（体験）会

日時：10/17-18、10/24-25、10/31-11/1（毎週土・日は交流館へ！）

会場：佐伯市城下町観光交流館

行事内容：佐伯市で活動されている文化・芸術団体、個人のみなさまの作品を週替わりで展示しています。

詳細は「佐伯市観光ナビ」をご覧ください。

●行事名：第7回博多駅さいきフェア

日時：10月23日(金) 14:00～18:30

会場：博多駅コンコース

参加内容：観光PR・佐伯産品物販にて出店します。

【発刊】

一般財団法人

観光まちづくり佐伯

0972-23-1101

住所：大分県佐伯市中村南町9-5

<https://machi-center.net/>